

学習時間の目安  
30分形や意味が似ている動詞は混同しやすい。  
自動詞と他動詞の見分け方を理解し、文型を正しくとらえられるようになる。

コレで解ける!

THE  
鉄則

◆動詞の後の要素を見れば、自動詞か他動詞か判断できる

- ・他動詞は直後に(代)名詞がくる
- ・形や意味が似ている自動詞と他動詞がある
- ・〈S+V+X(名詞)〉でS=Xなら〈S+V+C〉, S≠Xなら〈S+V+O〉

## step1 例題で THE 鉄則 をつかむ

例題 次の日本語の英訳として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ナンシーは高校時代の同級生と結婚した。

- ア Nancy married a classmate from high school.  
イ Nancy married to a classmate from high school.  
ウ Nancy married with a classmate from high school.  
エ Nancy married of a classmate from high school.

( )

## THE 鉄則 他動詞は直後に(代)名詞がくる

動詞の直後に(代)名詞がくるか前置詞がくるかに注意!

まず、問題文の日本語と選択肢の英文を比較して、動詞marryの用法が問われていることを見抜こう。アでは、marriedの直後にa classmate from high schoolという名詞が続いているが、イ、ウ、エでは、それぞれmarriedのあとに、to, with, of という前置詞が続いている。

さて、「…と(結婚する)」という動作の対象を表すとき、このような前置詞は必要なのだろうか? 英語の動詞には、目的語をとらない動詞(自動詞)と、目的語をとる動詞(他動詞)がある。

marryには「…と結婚する」という意味の他動詞の用法があるので、直後に目的語となる名詞(a classmate from high school)を続けるのが正しい。前置詞、to, with, ofなどを用いて「…と」を表す必要はないので注意しよう。

Nancy married a classmate from high school.

S V O(名詞) ※「結婚する」という動作の対象が「高校時代の同級生」

したがって、正解は、ア Nancy married a classmate from high school. となる。

覚  
える

## 間違えやすい自動詞と他動詞

自動詞は直後に目的語となる(代)名詞を続けることができないので、前置詞が必要。他動詞は直後に目的語となる(代)名詞を続けられるので前置詞は不要。日本語にまどわされて、2つの用法を混同しないように気をつけよう。

## ●他動詞と間違えやすい自動詞:結びつく前置詞も一緒に覚える

- apologize to ... 「(人)に謝る」/apologize for ... 「(物事)について謝る」
- complain to ... 「(人)に不平を言う」/complain about ... 「(物事)について不平を言う」
- graduate from ... 「…を卒業する」
- object to ... 「…に反対する」
- wait for ... 「…を待つ」

## ●自動詞と間違えやすい他動詞:前置詞をつけないように注意

- approach 「…に近づく」
- attend 「…に出席する」
- discuss 「…について話し合う」
- oppose 「…に反対する」
- reach 「…に到着する」
- resemble 「…に似ている」

プラス  
+α

## 自動詞と他動詞の言い換え

次のような例では、異なる自動詞と他動詞で同じような意味を表すことができる。

「私たちは新しい計画について話し合った」

- e.g.  $\left\{ \begin{array}{l} \text{We talked about our new project.} \\ \text{S} \quad \text{V} \end{array} \right.$  ※talkは自動詞なので前置詞aboutのあとに(代)名詞を続ける。
- $\left\{ \begin{array}{l} \text{We discussed our new project.} \\ \text{S} \quad \text{V} \quad \text{O} \end{array} \right.$  ※discussは他動詞なので直後に(代)名詞を続ける。